

[創刊準備号]

No.



おしえてっ自治会

工夫を凝らす自治会の防災対策

3.11以後の計画停電の情報をいち早く、各戸配布してくれた自治会に感謝！自治会は地域における最も美しいコミュニティのひとつです。そんな自治会の防災対策をまちづくりセンターにお聞きしました。

Q

自治会の防災組織はどうなっているの？

—各自治会では自主防災隊が作られていて、自治会関係者と学校で避難所運営協議会をつくっています。

Q

各小中学校の避難所倉庫、広域避難所対応倉庫、一般倉庫に食糧や発電機、仮設トイレなどの生活資材が備蓄されています。倉庫の鍵の管理はどのようにしているのでしょうか？

- ◆避難所倉庫(小中学校に避難した人のための倉庫) 鍵は自治会も持っています。
- ◆広域避難所対応倉庫(広域避難所に避難した人のための倉庫) 鍵は上記の倉庫と同じものが使われています。
- ◆一般倉庫(防災資材が備められています)相模原市が管理しています。



南区内の避難所倉庫

南区7地区の自治会*に3.11以降の防災対策についてお聞きしました。

大野南地区

相模大野駅前自治会

避難勧告・指示が出た時は、新で生活している避難者を一時的避難所へ誘導する。

南東地区

上中丸自治会

親族や友人等の安全確認のネット網の構築し、伝言板等の整備、防災訓練の充実に、避難所運営の意見交換を行った。

南西地区

上通部下自治会

3.11では、帰宅困難者が地域で発生するとは想像していなかったもので、今後の対策が必要。

大野中地区

自治会法人西一自治会

新たな対策として、避難所運営協議会を行った。避難勧告・指示が出た時は、要援護者の安否確認を自治会役員が行う。

南東地区

相ヶ丘クラブ自治会

避難者のリストを作成した。地域で避難勧告・指示が出た時は、一時的避難所に集合し、情報収集及び活動を開始。

南東地区

相和自治会

3月11日までに防災訓練を実施。避難勧告・指示が出た時は、南こう三軒両隣の緊急な連絡をする。

自治会ではみんなが安心して暮らせるように色々な対策をとっていることがわかりました。すべての自治会の方が口をそろえて「自治会が行っている防災訓練に必ず参加して欲しい!」と切実に言っています。情報をキャッチして、防災訓練に積極的に参加することが地域の力になる実感しました。防災訓練は防災担当の仕方などふだんの生活にも役に立つ方法を教えてくれます。自治会活動に参加して情報を共有しましょう!

相模台地区

相模台地味連合自治会

災害弱者(高齢者一人暮らし・障害者)への安否確認や避難所運営の充実を行った。避難勧告・指示が出た時の自治会の対応は、ハンドマイクで地声を取り、緊急時を利用。

「一時避難」って「いつときかなん」と悩んで、知らなかった(D)



読者からのお返事がここに!

【お便り】

「ここからたん」創刊

大野南地区のみなさんとともに歩む情報紙であり続けます

「ここからたん」を立ち上げた。地域で人と人がつながり、行政や事業者と手を携えてまちづくりに取り組みために地域情報紙の発行を計画しました。幸いにも南区のご支援をいただき地域活性化事業として「ここからたん」を創刊することになりました。みなさんのご愛読を心よりお願い申し上げます。

「ここからたん」編集委員一同

紙 上 カ フ ェ

112人に聞きました!



原発に対する依存が
大きかったことを
認識した
(40代男性)

**節電節約する
ようになった**
不要なものを処分した
(40代女性)

地震直後は備
蓄したりしな
い。最近は何
もしていない。
子どもが小さ
いから心配
(40代女性)

何も変わらない。
節電もしてい
ない。地震には敏
感になっている
(10代男性)

地震直後は備
蓄したりしな
い。最近は何
もしていない。
子どもが小さ
いから心配
(40代女性)

震災後は防災グッズをそろえたりしましたが、今はまたもとのまま。ガソリンは常に満タンにしておくようにはしています (40代女性)

変わらない。電気は無駄づか
いしていないし、必要最低限の
ものしか購入しない (40代男性)

**家族で何処で待ち合わせするか、
あらためて決めました** (50代女性)

人との関わりを大事にしたいと思いました (60代男性)

今後地震が来たときの家族
との待ち合わせをきちっとし
ました。家には防災グッズを
用意しつつありますが、まだ
完全ではないです (60代女性)

小さい地震のときでも、
「落ち着いて」と
自分に言い聞かせています
(50代女性)

**原発等安全に関する
問題に敏感になった**
(50代男性)

当たり前の生活がいつ
どうなってもおかしくな
い。今まではそんな風
に考えなかった。一日
一日に思いがあり覚悟
ができた (40代女性)

原発絶対反対
自粛している。震災でな
くなった方たちのため毎
日祈っている (70代女性)

**自宅の耐震補強をどうする
べきか悩んでいる** (60代男性)

考えると不安になる
が、いまを懸命に生
きるしかないと思う
(20代女性)

節電や節約は当たり前になった。他は変わら
ない (高校生女性)

**地域でのきずなを大切に
思い、防災についての知識
を得るようになった** (50代女性)

何も変わらない。その時はそ
の時。心配したくない。考えた
くない (40代女性)

地震のとき、仕事で茨城にいた。その後
も毎月のように茨城に行くけど、行くた
びに不安になって眠れず、食欲が落ちる
(50代男性)

まさかのときに備えなくては
思うようになった。まだ備
えていないが (60代女性)

**普段から非常事態に対する
知識を養い、またその時は
できるだけ多くの情報を得
るようアンテナを張ることが
大事だと思いました** (80代男性)

東日本
大震災

3.11以降

「ココの気持ち」はこのまちで暮らしたり働いている人たちの声を
まちに出て聞き取り、拾い集めて紙上で紹介するもの。
みんなの声が集まってくる、私たちの「紙上カフェ」です。

*大野南のエリア内で無作為にお願いし、了解の得られた人のコメントを掲載しています。
*文字の大小も無作為に行っています。



「南公民館まつり」
3/3土・4日

まちのイベントにお邪魔して
同じ質問を試してみました。

【暮らしと防災】
**意識は
変わった?**

**食べ物の生産地が前より
気になる** (40代女性)

父親の実家が福島県浪江町で母
親の実家がいわき市で、両方とも
震災後、津波にはあわなかったが、
原発の関係で自宅に住めなくな
っています。災害のおそろしさを感じ
ています (70代男性)

震災ボランティアに
行っている友人に
支援物資を意識し
て届けるようにし
たりするようになりました
(40代女性)

生活は何も変わ
りませんが、な
んか不安がいつ
もつきまわって
ます (60代女性)

南新町商店街
振興組理事長
篠田 清さん(鳥陣)

商店は、このまちに昼間いるんだよね。だ
から「〇〇110番」じゃないけど、いろ
んなことができる。帰宅困難になった人の
ケアとかね。いざとなったときに、在庫がどれだけあるか
市からの調査もあったけれど、こちらから何か進んでとい
うことは難しいにしても、自治会や、まちの人から、こうして
ほしいということがあったら、できると思うんだよね。



上鶴間の地名にちなん
だツルのオブジェ。買
い物カゴをもって道行
く人を見守っています。

商店街でも
いろんなことを考えてます!

「まちの安心・安全」

お店にも
聞いちゃおう!

ココ みせ

電力、とくに原発が怖い。節電、エコへの気持ちが高まった (30代女性)

小さい揺れでも意
識するようになり、
窓を開けて避難経
路を確認するよう
になった。まずはメ
ガネをかける
(高校生女性)

先のことを考えたり、
欲がなくなった。今現
在を大事にしている
(60代男性)

子どもと連絡でき
るように携帯電話
を持つようになった。
使用方を勉強中。
近所のつながりが
大事。一人暮らしの
方など、日常から声
掛けをするよう
になった (40代女性)

担当記者から
ありがとう!

すべてを取り上げることができませんでしたが
いきなりのインタビューに快く答えていただき
ありがとうございました(け)

食品の買出しは何かあると困るので余
裕を持って買うようになった (30代女性)

大野銀座商店街
振興組理事長
立石 利夫さん(とうがらし)

震災や原発事故で今現在の情報がわからないもどかしさ
があるでしょ。「今どうなっているか」という情報を少しでも伝
える手助けがしたいと思っていますよ。それで、LED看板を新た
に設置し、商店街としての発信をしようと思っています。

とうがらし2Fは
女性グループ
の貸し切り
にgood!



3月下旬には、映画
のロケ地にもなった
銀座商店街。入口
アーチの下に文字
の流れるLED看板。

担当記者から
ありがとう!

そうなんだ。まちに商店
があるということが地
域の安全をケアしてく
れて、安心を守ってく
れるんだ。まちに商店、商
店街がある意味、ふだ
んから商店と付き合っ
ていく大切さ、お話を
聞いて改めて実感し
ちゃいました。(い)



お花が好きの方に 耳寄り情報

～人から人へみどりの輪をひろげよう～

相模原市みどりの協会ではみどりのリサイクルを考え「みどりのバンク」を設けています。

草花の種や株分け苗などの「みどり」を譲りたい方、譲り受けたい方に相互の情報を提供し、ネットワークづくりのお手伝いをしています。今冬の厳しい寒さを越え、日に日に春がめざめています。これから到来する園芸シーズンをガーデナーにとって頼もしい「みどりのバンク」を利用してみてはいかがでしょうか？

公益財団法人 相模原市みどりの協会

相模原市南区麻溝台2317-1(麻溝公園内) ☎ 042-777-2860

URL: <http://www.sagamihara-green.or.jp/>



公園管理事務所内の情報コーナー



※入室での観覧・取付可。

※譲渡の对象は草花の種や株分け苗、樹木などです。鳥、動物や大サイズの樹木・草花については個人同士の譲渡で行ってください。

障害者自身も「心」が大切



Note①

まず障害者自身が、自治会などの防災訓練に参加してください。そこで、助けが必要なこと、自分でできることを近所の人たちに向けてもらいましょう。

Note②

ひとり暮らしの人や、年末か年始に向こう三軒両隣に、必ずあいきつに行きましょ。もちろん、手ぶらでOK。

周囲が気づいてあげられること

Note③

耳の聞こえない障害は気づきにくいですが、話しかけてもキーンとしていたら、メモ書きしてあげましょう。字のひらに指で書いてもいいです。手話ができることもありますが、口を大きくあけて話かして話かけてみてください。



なんでも情報交換 ぴあ・さぽ／ート

災害に備えて障害者の安心について考えよう。周囲の人はどう向き合えばよいのでしょうか。

子ども、お年寄り、障害のある人に心地よい安心は、誰にとっても、ずっと暮らしたくるまらだと思えます。このコーナーは、同じ立場から気づいたことを互いに伝え合い、誰にも役立つようにしようというものです。

クリップ・ボード

NPO法人 こぞつとでは、地域のみんながつながっていくための様々な企画に取り組んでいます。参加のお申込み・お問い合わせをいつでもお待ちしております。

コミュニティ・カフェ「ここdeコミ」 (北沢店)

【日時】4月15日(日) 12:30～15:30 ※原則、毎月第3日曜日
どなたでも出入り自由。コーヒー等お茶 1杯100円。
【会場】たににい・ぼっくす

気流法でからだほくし(★)

【日時】4月22日(日) 13:30～15:30



心で聴く身近なセラビー(★)

【日時】5月27日(日) 13:30～15:30

★・・・地域の飲食店を利用して移動立で開催を予定しています。詳しくはお問い合わせください。

【会場】たににい・ぼっくす
相模大野9-4-1B-2F
相模大野駅前口徒歩5分
【問合せ・申込】090-9307-9938
【E-mail】ccztown@yahoo.co.jp

Information

ご意見・ご感想をお寄せください。
この号は創刊準備号です。あなたのご意見をもとに紙面をさらに面白く、役立つものへと変えていきます。

市民記者になってください。
市民発、市民目線の記事・企画を目指します。あなたも市民記者や市民カメラマンとして活躍を。

【広告】【協賛】いつでも募集しています。
◆市民による市民のためのフリーペーパーを支えるための広告を募集します。小さな紙面なので、3cm×6cmが1ツクで2000円です。個人、法人どなたでも。(ただし、掲載基準あり) ◆また、こういう紙面が欲しかったと思われる方、ぜひ、経済的にご支援ください。1口＝1000円で発行を支えてくださる方を募集します。

募集中

ご連絡はFAXかメールでお寄せください。
【FAX】042-742-0447
【E-mail】ccztown@yahoo.co.jp

『季刊・こぞつとらうん』 第4回発行・無料
【発行日】2012年3月25日(創刊準備号)
【発行所】NPO法人 こぞつと 〒253-0303 相模大野9-4-1B-2F こぞつとらうん編集室